

◎越谷市の不登校支援事業

わくわく体験プロジェクト

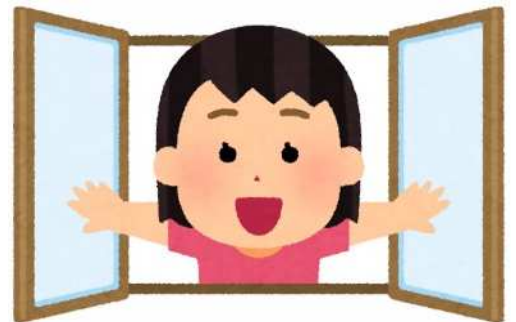
～子どもが「学校に行かない」と言ったら～

わくわく体験プロジェクトとは？

「登校拒否はどの子にも起こりうる」と1992年に文科省が答申して30年。直近の統計では不登校の子どもは24万人を超え、学校に行っていない子どもがいるのが当たり前の時代になりました。

それでも学校に行かない、行けないことで悩み苦しんでいる子どもや保護者は多くいます。

平成17年に始まった越谷市わくわく体験プロジェクトはそうした悩みを持つ方への支援活動をしてきました。子どもたちへの直接の支援が難しいので、近年は悩んでいる保護者等がホッとできるような活動をしています。地域、NPO、越谷市が協働し、実行委員会が取り組んでいる活動です。



越谷特別市民
ガーヤちゃん

教育機会確保法って知ってる？

学校へ行っていない児童生徒に対し、個々の状況に応じた教育機会の確保に関し、法的な整備がされました（不登校児童生徒への支援を推進）。また、この法律では、児童生徒の休養の必要性も認めています。

令和4年度(2022年度) 事業報告書

第1回：体験談

日 時 令和4年9月20日(火)
10:00~11:50

会 場 中央市民会館 第14~15会議室
参加人数 18名



ゲストスピーカーは、不登校のお子さんを持つお母様でした。

「学校に行かないで、部屋にいる事がこの子の幸せなのかも…」と深く思えた時、お子さんの様子が変わったそうです。

お母様ご自身は、心の中で色々葛藤があったそうですが、お子さんがフリースクールで楽しそうにしていた事と、学校などとの連絡を一旦止めた事で、家庭の事に集中する事ができ、ご主人やご両親に全てを理解してもらえなくても、上手くやり過ごす事が出来たそうです。

(実行委員 櫻井)



第2回：体験談

日 時 令和4年11月15日(火)
10:00~11:50

会 場 中央市民会館 第14~15会議室
参加人数 20名

保育園児の時から何故お母さんと離れなくてはいけないのかと感じていたというゲストスピーカーさんですが、当時2才上の姉が不登校で、お母さんが専門機関に相談したり、自身が保育士であり学んでもいたが理論と現実とのギャップに苦悩し、校内前で泣いて手を放さない姉の気持ちを受容することに心を決め向き合ってくれていたのが、自然の流れで「学校」にこだわりを持たずに同じく不登校になったようでした。

しかし、思春期に世界や社会の様子が気になり社会的な自分が不安になって「不登校」を容認してくれるお母さんの本当の心の中を聞き出し、人間的な本音を知れたことにより高校生からNPO 法人のフリースペース~アルバイト~就職と、将来生きて行く為の行動を起こして行くことができ現在は結婚の幸福まで得られ、『口先だけは子どもに見破られている。子どもは親の本当の考えを知りたいのだ』と大人達に教えてくれました。大人も子どもも本当の本音をわかり合えたら…と此の言葉の核心を重く受け止めたいと思いました。

(実行委員 鈴木)

第3回：交流会

日 時 令和5年1月31日(火)
10:00~12:00
会 場 中央市民会館 第2~3会議室
参加人数 20名



今回は、初めての方や再度参加された方での保護者や関係者の交流会でした。

不登校のきっかけや今の状況、体調に関すること、学校とのやりとり、相談先の情報、家での過ごし方(昼夜逆転や長時間ゲーム、YouTubeなど)、学校教育の疑問点などをお話いただきました。

不登校になると直面する様々なことは、同じ経験者にしか分からないことが多く、誰かに簡単に相談できないため、たくさん悩み、迷うと思います。親子関係や子どもの性格、特性も違うので正解はないですが、このような場で色々な方と情報を共有してヒントを得て、共感してもらい心を癒すことで、親御さんの悩みや不安が、少し和らぐのではと思いました。

(実行委員 木村)

参加者アンケートの御意見

- いろいろな方の話が聞けて気持ちの整理ができました。
- 不登校と一言でいってもケースが様々で、他の方の意見も聞くことが出来て良かったです。
- このような場があることが大切だと思いました。もっとたくさん機会があったらいいと思います。
- 不登校当事者の気持ちが聞けて良かったです。子どもの気持ちを理解しているつもりでいても、やはり理解していないなと思いました。子どもの気持ちをたくさん聞いて寄り添っていきたくと思いました。
- 当事者の体験談にとっても勇気をいただきました。
- 他の人の意見にふれるチャンスは、今の自分にとって、とってもありがたいです。
- たくさんの体験談がきけて、すこし安心しました。
- 同じ思いをされている方の話しがきけて良かったです。

わくわく体験プロジェクト実行委員会では、よりよい事業にするため、御参加いただいた方にアンケートへの御協力をお願いしています。

いただいた御意見は、次年度の事業に役立てていきます。

アンケートにご協力いただきまして、ありがとうございました。





不登校に関する相談窓口



越谷市教育委員会の相談窓口

4歳～中学生のお子さんとその保護者の相談をお受けしています。

【来所相談】(要予約)

場所：越谷市増林3-4-1
越谷市教育センター内
日時：月～土曜日(除：祝日)
9時20分～16時40分

【電話相談】

TEL：048-962-9300
TEL：048-962-8601
日時：月～金曜日 9時～19時
土曜日 9時～16時40分

【子ども専用電話相談「ハートフル」】

TEL：048-962-8500
日時：月～金曜日 9時～19時
土曜日 9時～16時40分

【メール相談】

越谷市 教育相談

検索



越谷市の相談窓口

【青少年相談室】

ひきこもり、不登校等で悩んでいる保護者や悩みをかかえる本人の相談等をお受けしています。

場所：越谷市増林3-4-1
越谷市教育センター内

日時：月・火・水・金曜日
(除：祝日)
9時～16時

電話：048-964-0272
面談：電話予約の上、来所願います。

埼玉県ひきこもり相談

サポートセンター

【NPO法人 越谷らるご】

当事者や家族の思いに寄り添いながら、相談や情報提供などのサポートを行います。電話・メール等で事前に予約をお願いします。

TEL：048-971-5613

FAX：048-970-8882

メール：center@k-largo.org

料金：無料

場所：越谷市千間台東1-2-1
白石ビル2階

日時：月・水～土曜日(除：祝日)
10時～18時

越谷市保健所

【こころの健康支援室】

お子さんのひきこもりや不登校、こころの不調などに関する相談をお受けしています。

場所：越谷市役所 第三庁舎1階
日時：月～金曜日(除：祝日)
8時30分～17時15分

対象：本人と保護者等

電話：048-963-9214

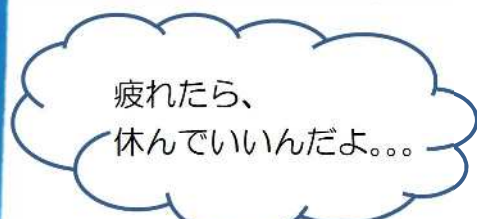
越谷児童相談所

お子さんの養育、性格行動、障がい、非行の相談等をお受けしています。

場所：越谷市恩間402-1
日時：月～金曜日(除：祝日)
8時30分～18時15分

対象：18歳未満の本人と
その保護者等

電話：048-975-4152



※令和5年4月現在

越谷市わくわく体験プロジェクト実行委員会

〒343-8501 越谷市越ヶ谷四丁目2番1号 越谷市役所子ども家庭部青少年課内(事務局)

TEL：048-963-9308 FAX：048-963-8421